

## 投資事業評価調書(新規)

部課室名	街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 足立 眞 清 (丸岡 剛)	内線	4 4 7 4 (4 4 8 0)
------	-----	---------------------	---------------------	----	----------------------

事業種目	街路	事業名	事業区間	総事業費	約 8 . 0 億円
		都市計画道路事業 本龍野富永線 (主要地方道本竜野停車場線)	龍野市龍野町中村～ 龍野市龍野町堂本	内用地補償費	約 6 . 7 億円

所在地		事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
龍野市龍野町中村～龍野市龍野町堂本		H 1 7 年度	H 1 7 年度	H 2 1 年度

事業目的	事業内容
<p>本路線は、J R 姫新線本龍野駅から県総合庁舎や市役所が立地する龍野市中心市街地への東西幹線道路であり、以下の目的から事業を計画する。</p> <p>交通結節点機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅周辺を魅力ある中心市街地として活性化するため、市町村合併を機に、龍野市が駅前広場の整備を進めており、これと一体となって、交通結節点機能の強化を図る。</li> <li>・ 歩行者・自転車の安全性の向上</li> <li>・ 歩道の設置により、歩行者・自転車の安全性の向上を図る。</li> </ul>	<p>道路改築(拡幅) L = 2 5 0 m</p> <p>現況：2車線 + 1.5m片側歩道 W=5.5(7.8)</p> <p>計画：2車線 + 4.0m両側歩道 W=6.0(16.0)</p> <p>昭和31年都市計画決定</p> <p>交通量</p> <p>自動車</p> <p>現況：3,578台/日(H15年実測)</p> <p>計画：5,900台/日(H32年予測)</p> <p>歩行者現況：903人/12h(H15年実測)</p> <p>自転車現況：436台/12h(H15年実測)</p> <p>[負担割合 県1/2,市1/2]</p>

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩道が片側しかなく、幅員も 1.5m と狭小であり、人身事故が多発している。(H15年の死傷者数 2 人、死傷事故率 919 人/億台 km)</li> <li>・ 周辺には小学校と中学校があり、通学路として利用され、自転車も多く通行していることから、歩道の整備により安全性の向上を図る必要がある。</li> </ul>
地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元では、まちづくり協議会が設置され、「本竜野駅西地区まちづくり基本構想」を作成し、県及び市に対し要望を行っている。</li> <li>・ 市が今年度から事業着手している駅前広場整備と一体となって、龍野市の玄関口にふさわしいまちづくりに寄与する。</li> </ul>
快適性、ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当地区は福祉のまちづくり重点地区に指定されており、広幅員(W=4.5m)の両側歩道の設置により、高齢者・障害者にも配慮した整備を行う。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 龍野市の街路整備プログラムに前期(H19年度まで)着手路線に位置づけられている</li> </ul>
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 費用便益比 B / C = 1 . 2</li> <li>・ 市施行の駅前広場と一体的な整備を行うことにより、交通結節点機能の強化を図る。</li> </ul>
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 周辺は、駅前通りの密集市街地であり、車道は排水性舗装、歩道は高木植樹と透水性インターロッキング舗装を行い、沿道環境の改善を図る。</li> <li>・ 龍野市の玄関口にふさわしい景観形成を図るため、市と協力し歩車道境界部の車止めと街路灯をグレードアップする。</li> <li>・ 電線共同溝の整備により都市景観の向上及び快適な歩行者空間の整備を図る。</li> </ul>
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市施行の駅前広場は、今年度に事業着手を行っており、平成 2 1 年度に完成予定である。</li> <li>・ 本路線を平成 1 7 年度に事業着手し、駅前広場との同時完成を目指す。</li> <li>・ 地元まちづくり協議会から、早期整備の要望が強く、円滑な事業執行に向けた協力体制が整っている。</li> </ul>